

ビルマ国のために世界中がお祈りする会を
日本でも行おう。

キョウ・キョウ・ナイ (2007・3・12)

(翻訳) ナン・カン・モ・トゥン

ビルマを過酷な現状から解放する目的で、在外のキリスト教徒たちにビルマ国のため世界中がお祈りする会を行うことを GREETING AND ENCOURAGEMENT LETTER FROM CHRISTIAN SOLIDARITY WORLDWIDE,UK が3月上旬ごろから勧めました。その勧めで在日カチン民族たちの組織した Kachin National Uplift Society(Japan)という組合が指導してお祈り会を日本の東京にある池袋区民センターで、夜6時から9時まで行いました。

そのお祈り会で、ビルマ全国は純粹に安定した独立を得ること、純粹な民主主義の国家を早く成立させることと、少数民族に正当な人権と独立を早く得られること、逮捕されている政治家リーダー、宗教のリーダー、少数民族のリーダーたちが早く解放されること、安定していない政治のために母国を離れて外国で難民申請している人たちと逮捕されている人たちが早く解放されること、日本

国と世界中はビルマが正当で、平和な国になることなどを主にして
祈っていました。

参加者は 150 人位いました。